

被験者募集のご案内

[内容に関するお問い合わせ先・書類宛先]

〒181-8612 東京都三鷹市下連雀 5-4-1

TEL 0422-47-8000(内線 1204)

研究責任者 杏林大学保健学部臨床検査技術学科 芝崎翔平

現在、「生理機能検査学/解析検査学」グループでは、「昼食後のコーヒーが腹部の血行動態に及ぼす影響」というテーマについて検討するため、以下の実験について被験者を募集しています。

研究課題名	昼食後のコーヒーが腹部の血行動態に及ぼす影響
対象者の概要	対象：杏林大学学生、大学院生(18 歳以上) ※除外基準：高血圧や循環器疾患等の既往歴がある場合、からあげやコーヒー等にアレルギーがある場合
実験の概要	1) 超音波診断装置：ARIETTA E70 (富士フイルム)を用いて、腹部への血流として上腸間膜動脈と門脈、腎動脈を観察します。 2) 昼食前の午前中の検査後、用意した「からあげ」を中心とする昼食を摂っていただきます。 3) 昼食後にコーヒーを飲む日と、水、緑茶またはカフェインレスコーヒーを飲む日の各1日ずつ超音波検査を受けていただきます。 4) 摂取後→30分後→1時間30分後→2時間30分後→3時間30分後に超音波検査を繰り返します。同時に、カフェイン摂取により脳血流量が減少する生理的な反応が起きていることを確認します。血圧もその都度測定いたします。最終検査は15時頃には終了します。 ※ 検査は男女ともご協力いただきますが、腹部超音波検査の範囲は上腹部のみです。 ※ 検査前日21時以降は食事を摂ることを控えていただき、当日の昼まで絶食になります。ただしこの間、水やカロリーのないスポーツドリンクは自由に摂取していただいてもかまいません。
実験時間	概ね測定時間は 15 分程度、1 日 5 回の測定を 3 日間実施
実施期間	2025 年 7 月 2 日 ～ 2027 年 12 月末日、測定期間：2027 年 2 月末日まで
謝礼	あり ・ なし
申し込み方法	■メールまたは QR コードによる応募をお願いいたします。 ① メールアドレス： s.shibasaki@ks.kyorin-u.ac.jp ② メール本文へ以下をご記載ください： ----- 氏名： 連絡先(メールアドレス)： 希望する曜日・時間帯など： ----- ※メールでのご連絡または QR コードによる登録をいただきましたら、折り返しこちらからご連絡をいたします。

